

## 警察の役割、地域の現状

いないと思ったらまず110番をしましょう。  
警察が保護していて身元が分からず困っていることもあります。

例えば瑞穂区内では週に2～3人の高齢者の保護があり、一般の通報者や介護経験者の声かけによる発見が多いです。見つからない場合は、県外まで移動されていることもあります。

110番は愛知県下の手配ですが、「行方不明者届」を出すと、全国に行方不明者として早期に登録されます。(警察署へ届出が必要です) 名乗れない方もいるので、持ち物への記名や目印になるものがあると見つけやすいです。

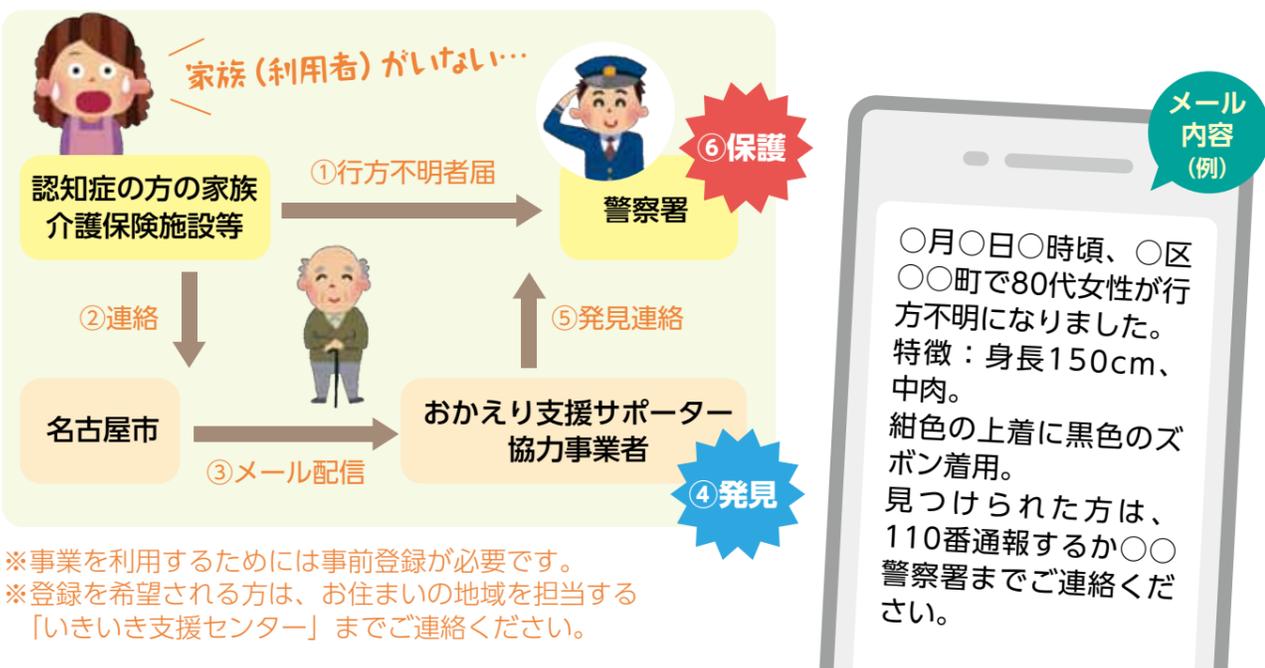


## 名古屋市はいかい高齢者おかえり支援事業

はいかい高齢者おかえり支援事業は、認知症の方の徘徊による事故を防止するため、地域の皆さんの協力を得て、徘徊されている方を早期に発見する取り組みです。

徘徊のおそれがある方の情報を登録した上で、その方が行方不明となった場合に、家族等からの依頼により、行方不明となった方の身体的特徴や服装等の情報をおかえり支援サポーターや協力事業者に対してメールで配信し、情報提供をお願いするものです。

※「おかえり支援サポーター」とは、この事業に協力いただく方々のことです。



※事業を利用するためには事前登録が必要です。  
※登録を希望される方は、お住まいの地域を担当する「いきいき支援センター」までご連絡ください。

## 認知症の相談機関

認知症のことは、どこに相談すればいいの？



現在、認知症のある方やそのご家族を支援する相談機関はたくさんあります。例えば、医療面では、認知症に詳しい「かかりつけ医(もの忘れ相談医)」や専門医療機関である「認知症疾患医療センター」、介護や福祉面では、「いきいき支援センター(地域包括支援センター)」や気軽に電話相談できる「認知症コールセンター」、介護福祉施設等にも認知症介護に詳しい専門職が多くいます。また、認知症の人と家族の会などの当事者のグループもあります。

何か気になる症状や生活のなかでの困りごとがでてきたら、ひとりで悩まず、早めに相談してみましょう。きっとそこから、ご本人やご家族への支援の輪がどんどん広がるはずです。



## 編集後記



瑞穂区では、平成23年8月から「瑞穂区ひとり歩きSOSネットワーク事業」を開始しました。認知症による「ひとり歩き(徘徊)」で行方不明になった方の早期発見を目指したものです。その取り組みが平成24年10月から「名古屋市はいかい高齢者おかえり支援事業」として市内全域に広がりました。

今回、今までの取り組みで得たアイデアや情報の集大成として、「ひとり歩き」に特化した冊子を発行することとなりました。編集委員会を立ち上げ、皆と一緒に作ったものです。作業を進めていくにあたって、あらためて「困った時はお互いさま」「遠くの親戚より近くの他人」「ひとりで悩まずに、まずは身近な人に相談」などのポイントが見えてきました。

今後、「ひとり歩き」の方が増えることは明確で、近い将来、地域社会が直面する深刻な課題でもあると危機感を持っています。安心して共に暮らすことができ、質の良い福祉が受けられる地域にするために、「ひとり歩き」の方を介護しているご家族や、携わる関係者・専門職の方たちのお役にたてればと思います。まずはいきいき支援センター(地域包括支援センター)、名古屋市認知症コールセンターにご相談ください。

今回、アイデアや事例等を提供いただいたご家族、市内のいきいき支援センター、関係公所、事業所の方々にお礼申し上げます。

名古屋市「ひとり歩き」さぼーとBOOK編集委員一同